

探訪 チャレンジ企業 17

見切りと先見性の連続 株式会社タケダ製作所：高松町



チャレンジ連続の要因

挑戦・挑戦・挑戦の連続が可能なる要因として、
一、トップが現状に甘んじることなく、常に未来志向の持ち主であること
二、トップは大局感に基づき現状判断から適切に見切りをつけること
三、最盛期に次世代において主力となり得る産業に参加準備をすること等をあげることが出来る。これらがトップの決断で実施されることが必要で、特に中小企業において強

く見える。高松町長柄町にある株式会社タケダ製作所は、これらの要件を満たした典型的なチャレンジ企業である。

チャレンジの経緯

株式会社タケダ製作所のチャレンジの経緯は、昭和二四年、電話器の修理をもって創業。

昭和三三年より瓦製造に関する機械の製造と修理に従



マンホール蓋「ホールマン」に対する技術審査証明書

調整式マンホールを開発
平成八年には石川県工業試験場と共同で調整式マンホ

調整式マンホールを開発

平成六年には県下で唯一の超大型多面加工MCを導入、生産の合理化・効率化を図り製品の精度向上も実現。



「仕事をするには過去と未来をよく見る必要がある」と話す竹田社長

チャレンジの特色

株式会社タケダ製作所のチャレンジは、単に製品開発だけでなく、機械の導入、販路の開拓、そして権威ある機関の証明や特許等実に多面的である。こうしたことができたのは、社長竹田信夫氏の慧眼と類稀なる決断力にあるといえる。

むすび
とかく中小企業は順風満帆の時は何もせず、逆境になつて慌てることが多いが、同社は、常に時代の先を読み準備を怠らない点が高く評価できる。既にIT革命の次に来る産業に視点を当て準備を始めているという。見切りの良さや並んで優れた先見性が明確にみることが出来る。正にチャレンジ企業の本領発揮である。石川ブランドの実現企業として更なるチャレンジを期待したい。

(お問い合せ)

株式会社タケダ製作所
本社工場

〒九二九 一三三三

石川県河北郡高松町字長柄町

ソハ六ノ六

TEL〇七六 二八二 五六五(代)

FAX〇七六 二八一 三三二

このコーナーでは石川の「チャレンジ企業」を応援しています。取材を希望される方は最寄りの商工会をお訪ねください。

今年(2017年)は商工会法
施行四十周年

の年です。

新しい時代への飛躍に向けて
企業の明日を応援します。